

附属病院／医療安全管理部

1. 領域構成教職員・在職期間

| | | |
|----|--------|----------|
| 教授 | 秋野 裕信 | 平成27年4月～ |
| — | その他の職員 | |

2. 研究概要

研究概要

医療安全管理に関する研修はおおむね2回以上受講することが医療法で定められており、2016年の医療法改正では特定機能病院の承認要件見直しとして院内研修の充実が求められています。院内研修が医療安全管理に重要とされていますが、研修が実際医療安全確保に役立っているとするエビデンスは欠如したままです。院内研修が実際に医療安全行動に生かされるかを、科学研究費補助金の基盤研究（C）を獲得して研究しています。

医療安全管理には医師からの報告が欠かせませんが、医師からの報告を増加させて医療安全に対する認識を持たせることを目標に対策を講じており、その有効性に關して研究しています。

医療安全管理のためはマニュアルや作業手順の遵守が必要ですが、それらを作成して遵守を医療者に促しても医療事故が絶えることはありません。チームワークやコミュニケーション、リーダーシップなどのノンテクニカルスキルが医療事故防止に重要です。米国医療研究品質局が作成したTeamSTEPS（Team Strategies and Tools to Enhance Performance and Patient Safety、チームとしてのより良いパフォーマンスと患者安全を高めるためのツールと戦略）を院内研修に導入し、医療事故発生件数の抑制効果について研究します。

キーワード

医療安全、院内研修、ノンテクニカルスキル、インシデント・アクシデント報告システム、リスク行動

本学の理念との関係

本学医学部の理念である「愛と医術で人と社会を健やかに」は、まさに医療安全管理部が目指す目標そのものであります。医療安全管理の根底には「人は間違える」存在であるとの考えがあり、今まで医療事故防止のために人ではなくシステムを改善することに主眼が置かれてきました。しかし、医療の最小単位が医療者という人である限り医療事故が絶えることはありません。よって、人が間違えることを最小限にとどめることが重要になるわけですが、そのためには本学医学部の理念にある「愛と医術」が必要です。患者への愛、ともに働く医療者への愛は、円滑なコミュニケーションや細部への心配りなどチーム医療による事故防止に最も重要な条件であり、そして医術の修練と進歩が医療安全に欠かせないことは言うまでもありません。

「愛」は技術ではなく、医療者のノンテクニカルスキルの根底にあるものであります。しかし、医療者の「愛」に期待するだけでは医療に必要なノンテクニカルスキルの修得は困難です。院内研修を通じてノンテクニカルスキルに関する研修を行い、その有用性を評価して、今後の研修につなげていくことが重要です。

3. 研究実績

| 区分 | 編数 | | インパクトファクター（うち原著のみ） | |
|--------|---------------|---|--------------------|--|
| | 2018年分 | | 2018年分 | |
| 和文原著論文 | 0 | | — | |
| 英文論文 | ファーストオーサー | 0 | 0 (0) | |
| | コレスポンディングオーサー | 0 | 0 (0) | |
| | その他 | 0 | 0 (0) | |
| | 合計 | 0 | 0 (0) | |

(A) 著書・論文等

(1) 英文：著書等

a. 著書

b. 著書（分担執筆）

c. 編集・編集・監修

(2) 英文：論文等

a. 原著論文（審査有）

b. 原著論文（審査無）

c. 原著論文（総説）

d. その他研究等実績（報告書を含む）

e. 国際会議論文

(3) 和文：著書等

a. 著書

b. 著書（分担執筆）

c. 編集・編集・監修

(4) 和文：論文等

a. 原著論文（審査有）

b. 原著論文（審査無）

c. 総説

d. その他研究等実績（報告書を含む）

e. 国際会議論文

(B) 学会発表等

(1) 国際学会

a. 招待・特別講演等

b. シンポジスト・パネリスト等

c. 一般講演（口演）

d. 一般講演（ポスター）

18106001

Yoko Ishimoto, Shingo Kasamatsu, Naomi Emori, Kazufumi Sato, Hironobu Akino: Application for surgical instruments individual identification code(GSI-Datamatrix) to sterilization management system, 7th World Congress of Clinical Safety, Bern, Switzerland, 20180907

18106002

Hironobu Akino, Yoshimi Kuwabara, Kazuyo Terasaki, Masako Fujii, Ayumi Inoue, Miyuki Uno, Kimiko Kitahama: What increased the incident reports from doctors in our hospital?, 7th World Congress of Clinical Safety, Bern, Switzerland, 20180907

e. 一般講演

f. その他

(2) 国内学会（全国レベル）

a. 招待・特別講演等

18106003

横山 修, 秋野 裕信: 女性過活動膀胱において高血圧は尿意切迫感、切迫性尿失禁の頻度増加に関係する, 第25回日本排尿機能学会, 名古屋市, 20180928

b. シンポジスト・パネリスト等

18106004

藤井真砂子, 秋野裕信: 看護実践場面でのリスクテイキング行動から、転倒・転落防止について考える, 第5回日本医療安全学会学術総会, 東京, 20190209

c. 一般講演（口演）

18106005

藤井真砂子, 秋野裕信, 桑原宜美, 寺崎和代, 北浜紀美子: 「内服場面」「注射場面」のリスク敢行行動に影響する要因の検討, 第13回医療の質・安全学会, 千葉市, 20181124

18106006

秋野裕信, 寺崎和代, 宇野美雪, 稲井邦博, 井上歩美, 桑原宜美, 藤井真砂子, 北浜紀美子: 医師が自主的に報告しなかった重大インシデントの特徴—死亡退院患者診療録レビューによる検討—, 第13回医療の質・安全学会, 千葉市, 20181125

d. 一般講演（ポスター）

18106007

宇野美雪, 寺崎和代, 井上歩美, 北浜紀美子, 後藤伸之, 秋野裕信: 注射用デクスラゾキサンの検討と院内体制, 第5回日本医療安全学会学術総会, 東京, 20190209

18106008

井上歩美, 小久保安朗, 寺崎和代, 宇野美雪, 稲井邦博, 北浜紀美子, 秋野裕信: 院内転倒患者における転倒危険度評価と転倒原因, 第5回日本医療安全学会学術総会, 東京, 20190209

18106009

寺崎和代, 井上歩美, 宇野美雪, 桑原宜美, 藤井真砂子, 稲井邦博, 秋野裕信: 転倒転落発生時の頭部打撲の現状—頭部CT撮影推奨前後の実態調査より—, 第13回医療の質・安全学会, 千葉市, 20181125

e. 一般講演

f. その他

(3) 国内学会（地方レベル）

a. 招待・特別講演等

b. シンポジスト・パネリスト等

c. 一般講演（口演）

d. 一般講演（ポスター）

e. 一般講演

f. その他

(4) その他の研究会・集会

a. 招待・特別講演等

18106010

秋野 裕信: 患者安全のためにあなたができること, 第73回富山県医学会, 富山市, 20190127

18106011

秋野 裕信: 医療安全のために求められること, 医療安全研修会, 敦賀市, 20181114

b. シンポジスト・パネリスト等

c. 一般講演（口演）

d. 一般講演（ポスター）

e. 一般講演

f. その他

(G) 特許等

| 区分 | 内容（発明の名称） | 発明者又は考案者 |
|----|-----------|----------|
|----|-----------|----------|

(D) その他業績

4. グラント取得

(A) 科研究費・研究助成金等

| 区分 | プロジェクト名 | 研究課題名 | 代表者名 | 分担者名 | 期間(年度) | 金額(配分額) |
|---------------|---------|------------------------------|--------|-----------------------------|--------|---------|
| 区分 | 研究種目 | 課題名 | 代表者名 | 分担者名 | 期間(年度) | 金額(配分額) |
| 文部科学省科学研究費補助金 | 基盤研究(C) | 医療安全院内研修会の有効性に関するエビデンスの構築と応用 | 北浜 紀美子 | 秋野 裕信, 藤井 真砂子, 笠松 真吾, 笠川 哲也 | 2018 | 1430000 |

(B) 奨学寄附金

| | |
|------|--------|
| 受入件数 | 1 |
| 受入金額 | 150000 |

5. その他の研究関連活動

(A) 学会開催等

| 区分 | 主催・共催の別 | 学会名 | 開催日 | 開催地 |
|-------------|---------|-------------|-------------------|-----|
| 国内学会(全国レベル) | 共催者 | 第5回多職種間学際シン | 20180916-20180916 | 福井市 |

(B) 学会の専横

| 学会の名称 | 役職 | 氏名 |
|----------------------------------|------|-------|
| 日本排尿機能学会 | 理事 | 秋野 裕信 |
| American Urological Association | 一般会員 | 秋野 裕信 |
| 日本ミニマム創泌尿器内視鏡外科学会 | 一般会員 | 秋野 裕信 |
| European Association of Urology | 一般会員 | 秋野 裕信 |
| 日本排尿機能学会 | 評議員 | 秋野 裕信 |
| 日本臨床腎移植学会 | 一般会員 | 秋野 裕信 |
| International Continence Society | 一般会員 | 秋野 裕信 |
| 日本泌尿器内視鏡学会 | 一般会員 | 秋野 裕信 |
| 日本老年泌尿器科学会 | 一般会員 | 秋野 裕信 |
| 日本内分泌外科学会 | 一般会員 | 秋野 裕信 |
| 日本移植学会 | 一般会員 | 秋野 裕信 |
| 日本性機能学会 | 一般会員 | 秋野 裕信 |
| 日本泌尿器科学会 | 代議員 | 秋野 裕信 |

(C) 座長

| 国内学会 | 学会名 | 氏名 |
|------|-------------------|-------|
| その他 | 第5回日本医療安全学会学術総会 | 秋野 裕信 |
| その他 | 医療安全に関するセミナー | 秋野 裕信 |
| その他 | 第4回福井医療の質・安全を考える会 | 秋野 裕信 |
| その他 | テルモメディカルセミナーin北陸 | 秋野 裕信 |
| その他 | 第25回日本排尿機能学会 | 秋野 裕信 |

(D) 学術雑誌等の編集

| 学術雑誌等の名称 | 委員長(主査)・委員 | 氏名 |
|----------|------------|----|
|----------|------------|----|

(E) その他